

平成 29 年 1 月 14 日

平成28年度「初心者パソコン教室」の実施報告

高坂丘陵地区ハートピアまちづくり協議会

高坂丘陵ねっと運営委員会事務局

1. 目的

高坂丘陵地区の住民は当地域開発終了後およそ30年を経過し、地域の世代交代も十分でなく、若年層の流出も進み高齢化率が進んでいる。このような状況の中で、最近のICT技術は急速に進展し、インターネットから様々な情報や利便を利用できる状況になっている。若い世代はそれらの技術を学校教育において、また企業活動の中で身につけ利用できる一方、高齢者の中にはこれらの恩恵から取り残され、情報化社会から取り残され孤立している状況が増加している。

このため、地域の住民を対象に、ICT スキル向上を目的にパソコン初心者教室を立ち上げ、希望者を対象にICTの基礎からの講習をすすめていく事としている。この講習は、平成26年から進めて参加者は延べおよそ80名に達している。

2. 対象者

6月からの講習会開始に先立ち、参加希望者を全戸回覧で募集した。また、回覧内容と同じチラシを高坂丘陵市民活動センターにも用意して住民周知を図った。

新規受講者 23名 前期からの継続受講者 13名

3. 実施内容と実施方法

(1) 講習の概要

参加者の講習料は無料。テキスト制作費については、市からの配算予算で対応するが、参加者の若干の負担を要請する。講習内容はパソコンに関する簡単な原理、文章制作の仕方、初歩の表計算、メールの送受の実際、インターネット利用についてなど、講習修了によりパソコン操作がある程度出来る内容とした。

(2) 講習用テキストと講師

講習用資料は講習のテーマ毎に担当講師が作成し、受講者に配布。資料は内容のわかりやすさを上げるため、基本的カラー印刷作成(平均20～24頁程度)。

講師は運営委員が担当し、講習時の受講者サポートのため常時3～4名程度の運営委員が講師補助として対応した。

担当 平島委員、上村委員、上部委員、椿委員、協力要員(佐々木氏)

(3) 利用設備

講習会場は高坂丘陵市民活動センターカルチャールームとし、25年度中にインターネット接続環境を整備し講習に備えた。また、パソコンを保有していない受講者のために26年度から3台のパソコンを整備し対応した。そのほか講習にはプロジェクターを活用しパソコン内容を投射し、パソコン操作の実際をビジュアルに表示、理解しやすくした。昨年度中にインターネット接続環境改善のために無線ルーターを

補強した。

(4) カリキュラムと講習時間

講習内容と日程については添付資料1 による。受講者についてはスキル等を勘案して1グループ10名程度でA.B.Cの3グループ分けとした。Cグループは昨年度からの継続受講者で、A,Bグループは新規受講者で構成。基本的に週1回で月曜日の午前中を第1候補、次に午後、月曜日の対応が出来ない場合は適宜曜日を設定。1回2時間の講座を標準とした。

4. 実施結果

受講者は自前のパソコンを持ち込み対応したが、2割程度の受講者は持ち込みパソコンが無い場合用意したパソコンを利用した。また、運営委員会で整備したパソコンの他、寄付されたパソコン2台も併せて利用した。毎回の受講者数は平均14~18名位。2年越しの受講者についてのスキルは確実に上がっている。

(1) アンケート結果(添付資料2)

(2) 考察

今回文書入力・作成については十分な時間配分を行ったので成果が現れている。一方、メールについてはもう少し実習を増やす必要がある。また、エクセルについては理解し利用できるようにするには、今回の倍の時間が必要と感じる。日頃エクセルを利用するケースが限られているので、今回は表作成としてはこの地区を走る路線バスの時刻表作りを実習課題とし、しっかり取り組んだ実習生はおおむね理解できている。

計算を必要とするケースについて、確定申告医療費の集計表などをサンプルとしたが、次回は実際に作ることにしていきたい。

5. 今後の進め方

カリキュラム設定としては3年越しの講習会を経て一定の成果が出たので方向性は確立できた。個々の講習内容については実施結果を参考にカリキュラムを設定する。

講師陣の体制は、講師の他、受講者サポートとして3名の補助講師で対応した。この体制は効果的なので今後も継続していく。

受講料は今まで徴収していない。ハートピア協議会の元で実施するのでこの方式は継続していきたい。一方、講義テキストについては、講義内容に沿って自前で制作し印刷配布した。印刷内容のわかりやすさに必要な印刷解像度を得るためにカラーレーザープリント方法をとってきたが、印刷コストがかかるのが難点である。この方法はコストは増えるが今後も必要なものと考えている。このための経費について、今回までは市からの予算配布又はハートピアからの配算によって対応してきたが、今後とも配算見込の確証がないのでテキスト受益者負担による対応にシフトしていきたい。

この初心者講習会を修了した受講者は、今後ともパソコン利用に関する様々なテクニックや高度な知識を求めている。今年度の後期講習会として習熟コースを設け希望者を募り、実施していくこととする。

以上